

ILSI Japan 活動報告<2020>

バイオテクノロジー研究会

1, 2 月	<p>1. 2020 年度 第 1 回目会議を 2 月 18 日に開催</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書 第 48 号を 2 月発刊、ERA プロジェクト調査報告 第 49 号の勉強会： ・ 10 報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(2) 大豆論文 雑誌掲載完了について Consideration of familiarity accumulated in the confined field trials for environmental risk assessment of genetically modified soybean (Glycine max) in Japan) Transgenic Research (2020)pp1-14 https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs11248-020-00193-z 隔離ほ場試験データトランスポータビリティーについて これまでの議論の振り返り、論点整理、意見交換する良い機会であるため当論文掲載完了を機にワークショップを開催する。タスクフォース設立が提案され、承認された。2 月 26 日にタスクフォースメンバー活動開始。</p> <p>(3) 2020 年度活動計画、助成金申請について 来年度の助成金が理事会で承認されたことが報告された。</p> <p>(4) 会計報告、その他 ・ ERA 報告書について、450 号に達したので集約版を作成することが提案され、承認された。昨年 3 月、8 月の特別号を巻末に付録として挿入する予定。</p>
3, 4 月	<p>2020 年度 第 2 回目会議を 4 月 17 日に開催（リモート会議）</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書 ・ 第 49 号を 4 月発刊。 「イルシー」No. 139 に掲載された寄稿「小口太一：我が国の学術目的での遺伝子組換え植物の第一種使用規定の承認審査の変遷：申請者の視点による評価」別刷りも同封し配布。 ・ 第 50 号の勉強会：10 報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(2) ILSI ERA 勉強会（隔離ほ場試験データトランスポータビリティーについて） ・ 当勉強会の WG の活動の報告がなされた。 -開催候補日：2020 年 10 月 8 日 -目的：遺伝子組換え作物の安全性、環境影響評価に関する科学的な知見を専門家、規制当局を含む関係者に情報提供し、さらなる科学的なリスク評価の発展に貢献 -規模：100 人程</p> <p>(3) 会計報告 ・ 予算進捗を確認した。</p> <p>(4) その他 ・ ERA 報告書集約版：送付先確認を実施。第 50 号と共に同封し送付予定。</p>
5, 6 月	<p>1. 2020 年 6 月 3 日に臨時幹事会を開催（リモート会議）</p> <p>(1) COVID-19 下 ERA 報告書および官庁訪問の在り方について</p>

	<p>➡ No.50 号報告書は郵送および電話で説明対応。中長期的にも状況を鑑みリモート会議でも対応ができるのかを確認する。 ERA 集約版は、上記官庁との最善なコミュニケーション方法が判明した後（8月）送付することとする。</p> <p>(2) ILSI RF の ILSI 脱退、Agriculture & Food Systems Institute (AFSI) 設立に対する当研究会としての対応 背景概要：2020年5月にRFはILSI脱退、AFSIを設立。 当研究会はこれまでRFと多くのWSで関わってきた。 ➡当研究会として、AFSI代表とILSI Federationと合意したTalking Pointを規制当局に伝えることとした。</p> <p>2. 2020年度 第3回目会議を6月22日に開催（リモート会議）</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書 ・第51号の勉強会：10報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(2) ILSI ERA 勉強会（隔離ほ場試験データトランスポートビリティについて） ・当勉強会のWGの活動（5/20, 6/10）の報告がなされた。 -開催日：2020年10月8日に決定 -目的：遺伝子組換え作物の安全性、環境影響評価に関する科学的な知見を情報提供し、さらなる科学的なリスク評価の発展に貢献 -規模：100人程</p> <p>(3) 6月3日開催 臨時幹事会 概要報告</p> <p>(4) 会計報告 ・予算進捗を確認した。</p> <p>(5) その他 ・副会長交代：協和発酵バイオ(株)森下氏から川田氏に交代</p>
7, 8 月	<p>2020年8月31日に第4回目会議を開催（リモート会議）</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書 ・第52号の勉強会：10報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(2) ILSI ERA 勉強会（隔離ほ場試験データトランスポートビリティについて）開催日：2020年10月8日 COVID-19 対応観点からリモート会議体とする 予定演題： ILSI Japan におけるこれまでのデータトランスポートビリティの取組み（ILSI Japan 中井 秀一） 農林水産省におけるこれまでのデータトランスポートビリティの取組み（農林水産省消費・安全局 審査官 高島 賢氏） 遺伝子組換えダイズの国内隔離ほ場試験に関する論文（Matsushita <i>et al.</i>, 2020）の紹介（ILSI Japan 松下 茜）</p> <p>(3) ERA 報告書 関係省庁へのご説明に関して これまで直接訪問し説明を実施してきた ERA 報告書配布に関し、リモート会議での実施方法について共有。</p> <p>(4) 会計報告 ・予算進捗を確認した。</p> <p>(5) その他</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度活動予算申請事業（ゲノム編集技術応用発酵生産された食品添加物等の安全性審査に関するワークショップ・2020年11月、リモート開催予定）について 現在の準備状況報告、意見交換。 ・2021年度 ERA 調査報告書事業 予算減額検討について 2021年度以降の活動の在り方について幹事会で検討を開始する。
9, 10 月	<p>1. ERA 報告事業</p> <p>定例の官公庁向け ERA 報告事業を COVID-19 対応で各種 Web 会議で対応（9/7, 9/8, 9/24）。食品安全委員会事務局訪問（9/17）AFSI の設立について説明、ERA 報告書 51 号および ERA 報告書集約版のご説明を実施。</p> <p>2. 遺伝子組換え作物の生物多様性影響評価に関する現状と展望 -遺伝子組換え作物のデータトランスポータビリティについて-</p> <p>開催 日時：2020年10月8日木曜日 14:00-17:30 場所：Teams 会議（Web 会議） （演者・勉強会事務局：TKP 秋葉原カンファレンスセンター） 参加者数：オンライン参加 49 名、会場 12 名</p> <p>演題： ILSI Japan における隔離ほ場試験のデータトランスポータビリティに関するこれまでの取組みと今後の論点</p> <p>ILSI Japan 中井 秀一 氏 農林水産省におけるこれまでのデータトランスポータビリティの取組み 農林水産省消費・安全局 審査官 高島 賢 氏 遺伝子組換えダイズの国内隔離ほ場試験に関する論文（Matsushita et al., 2020）の紹介</p> <p>ILSI Japan 松下 茜 氏 日本におけるデータトランスポータビリティに関する現状と論点の整理</p> <p>ILSI Japan 高本 圭 氏 隔離ほ場試験の意義と留意点 筑波大学 生命環境系 教授 佐藤 忍 氏</p> <p>3. 10月19日に第5回目会議を開催（リモート会議）</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第53号の勉強会：10報の論文をレビューし、意見交換を行った。 <p>(2) ILSI ERA 勉強会遺伝子組換え作物の生物多様性影響評価に関する現状と展望 -遺伝子組換え作物のデータトランスポータビリティについて- 開催（2. に報告と同内容）</p> <p>(3) ERA 報告事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度より、研究会開催および ERA 報告事業を年6回から4回に削減することが決定された。 <p>(4) 会計報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算進捗を確認した。
11, 12 月	<p>1. 12月14日に第6回目会議を開催（リモート会議）</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書</p>

	<ul style="list-style-type: none">・第 54 号の勉強会：10 報の論文をレビューし、意見交換を行った。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none">・部会長会議報告、および 2021 年活動予算申請審議経過・ILSI ERA 勉強会遺伝子組換え作物の生物多様性影響評価に関する現状と展望 – 遺伝子組換え作物のデータトランスポートビリティについて– 「イルシー」誌掲載原稿進捗状況共有 <p>(3) 会計報告</p> <ul style="list-style-type: none">・予算進捗を確認した。
--	---